

大塚マスジド 金曜日礼拝ホトバ 要約

(2023年08月18日)

アッラーは、全てを知る御方であられる

あらゆる賞賛は、アッラーのもの。アッラーでなくして、人々が崇拝するものは存在せず、アッラーには、共同者はないことを証言する。また、ムハムマドは、アッラーのしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・雌牛章及び巡礼者章において述べておられる。

「…アッラーを畏れなさい。アッラーが全てを知り尽くしておられることを、知りなさい。」(2章 231節)

「お前は、アッラーが天にあり地にある一切を知っておられることを知らないのか。…」(22章 70節)

天と地のあらゆる知識、その間のどんなことをも承知なされる御方を、いかにどのように賛美したらよいものか。

アッラーは、天使からの賛美について、クルアーン・雌牛章において述べておられる。

「あなたが教えられたもの以外には、私たち(天使)は、何も知らないのです。誠に、あなたさまは、全知にして英明であられます。」(2章 32節)

その創造について何の秘密も見当たらない至高の御方アッラー。そして、アッラーは、あらゆることに秘められている幽玄なことを御存知の御方であられる。アッラーは、クルアーン・家畜章において述べておられる。

「幽玄界の鍵は、その御方の御許にあり、その御方以外には誰もこれを知らない。その御方は、陸と海にある全てを知っておられる。一枚の木の葉でも、その御方がそれを知らずに落ちることはなく、また、大地の暗闇の中の一粒子の穀物でも、生気があるのか、または、枯れているのか、明瞭な天の書の中にもないものはないのである。」(6章 59節)

そして、アッラーは、すでに起こったことに加え、これから起こるだろうことを御存知であられる。

アッラーは、クルアーン・ターハー章において述べておられる。

「その御方は、前(過去)にあること、後ろ(未来)にあることを知っておられる。だが、彼ら(人間の知識では、それを知ることは出来ない。」(20章 110節)

アッラーがどういう御方であられるか示す「99の美名」というものがあり、その中の一つにアル・アリムというものがある。「全てを知る」という意味である。聖典クルアーンの中の二百ヶ所以上に関連する事柄が述べられており、そこを誦する信者は、アッラーの知識が膨大であると感じ取ることだろう。そうした信者は、アッラーが彼らを御覧であられると実感し、アッラーの知識が彼らを取り囲み、行いも話も御見通しであることを知ることだろう。アブー・フライラは、伝えている。アッラーの御使い SAW が人々と一緒におられた時、一人の男がそこに来て、御使い SAW に話しかけ、その中の一つに、「イフサーン(善行)について述べよ。」というものがあり、預言者さま SAW は、「あたかも、アッラーの御前に座しているかのようにアッラーを崇めることです。あなたにアッラーの御姿を拝することができなくても、アッラーは、あなたを見ておいでになるからです。」と答えられた。信仰篤い信者とは、常にアッラーの御前であることを意識し自分自身を良くあろうと努める者のことである。正しい人物は、次ぎのことに努める者である。何かを行う時には、アッラーが御覧であることを思う。沈黙を保つときには、アッラーの知識を思い



大塚モスク 金曜日礼拝ホトバ 要約

(2023年08月18日)

アッラーは、全てを知る御方であられる

自分の知識が乏しいことに気づく。話をするときには、アッラーが聞いて内容を御確かめであることに気付く。信仰篤い信者は、アッラーが彼を何者かを御存知であられ、行いの証人であられることに気づき、そのことを確信する。それ故、彼は、課されている義務を果たすのに熱心である。

預言者ムハマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブー・バクル師、ウマル師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。全てを御存知のあなたさまの御前であることを心得る良い信者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを称讃し、あなたさまに感謝する者であるように御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ、預言者ムハマド SAW に従い、イスラームの教えを守る者にして下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン

